

第1章 検討経緯と基本計画の位置づけ

1. 基本計画策定の背景と目的

垂水市本庁舎は、新耐震基準施行以前の昭和33年に建設され、建設後約60年が経過しており、業務の多様化への対応や執務スペースの狭あい化による庁舎機能の低下などの問題を抱えています。

また、平成23年3月の東日本大震災、平成28年4月の熊本地震のような大地震や桜島の活発な火山活動への対応については十分とはいえず、災害時も行政サービスを継続するために、防災拠点としての庁舎整備が必要です。

このような中、垂水市では、平成24年2月に庁内職員で構成された「垂水市庁舎建設等庁内検討委員会」、平成29年6月に学識経験者や市民代表で構成された「垂水市新庁舎建設検討委員会」を組織し、平成29年11月には「垂水市庁舎整備基本構想」を策定し、庁舎整備の基本方針などをとりまとめました。

今年度は、これまでの流れを踏まえたうえで、本市が目指すべき理想の庁舎の実現に向けて検討を進め、新庁舎の整備位置、規模や機能、具体的な整備手法などについての検討が行われました。また、基本計画の骨子を取りまとめた「垂水市新庁舎建設基本計画（案）」を公表し、市民の皆様のご意見をお聞きして計画に反映していく目的で、パブリックコメントを実施しました。

今回、各委員会での意見や議論ならびにパブリックコメントの結果をもとに、「垂水市新庁舎建設基本計画」を取りまとめましたのでご報告いたします。

2. これまでの経緯

【 基本計画策定までの経過 】

平成 24 年 2 月	『垂水市庁舎建設等庁内検討委員会』を設置
⋮ ↓	(中 略)
平成 29 年 3 月	第 12 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会 「新庁舎建設の検討結果報告書」策定
6 月	『垂水市新庁舎建設検討委員会』を設置 第 1 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○委員会運営について
8 月	第 13 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会
8 月	第 2 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○垂水市庁舎整備基本構想（案）に対する提言について
10 月	第 14 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会
10 月	第 3 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○垂水市庁舎整備基本構想（案）について
10 月	垂水市経営会議
11 月	「垂水市庁舎整備基本構想」策定
12 月	第 4 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○基本計画策定スケジュールについて ○基本計画（骨子案）について ○新庁舎建設位置の外部評価について
12 月	第 15 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会
平成 30 年 1 月	第 5 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○基本計画（案）パブリックコメント版について ○事業手法について ○設計者選定方式について
1 月	第 16 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会
2 月	「垂水市新庁舎建設基本計画（案）パブリックコメント版」公表
2 月～3 月	パブリックコメントを実施
3 月	第 6 回 垂水市新庁舎建設検討委員会 ○垂水市新庁舎建設基本計画（案）について
3 月	第 17 回 垂水市庁舎建設等庁内検討委員会
3 月	垂水市経営会議

3. 基本計画の位置づけ

「基本計画」は、「基本構想」で示した現状の問題点、新庁舎の基本方針、新庁舎の建設場所などを検討し、目指すべき新庁舎像についてより具体化するとともに、建物配置などのゾーニングや新庁舎に必要となる機能の整理、各機能の基本的な考え方など、基本設計にて反映すべき事項の方針を示すために策定を行うものです。

【 新庁舎完成までの流れ 】



